

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	2020年6月10日
【四半期会計期間】	第31期第1四半期（自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
【会社名】	株式会社コーセーアールイー
【英訳名】	KOSE R.E. Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 諸藤 敏一
【本店の所在の場所】	福岡市中央区赤坂一丁目15番30号
【電話番号】	092-722-6677（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 土橋 一仁
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区赤坂一丁目15番30号
【電話番号】	092-722-6677（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 土橋 一仁
【縦覧に供する場所】	株式会社コーセーアールイー東京支店 （東京都千代田区神田美土代町9番7号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第1四半期連結 累計期間	第31期 第1四半期連結 累計期間	第30期
会計期間	自 2019年 2月 1日 至 2019年 4月 30日	自 2020年 2月 1日 至 2020年 4月 30日	自 2019年 2月 1日 至 2020年 1月 31日
売上高 (千円)	2,148,867	2,125,706	9,055,069
経常利益 (千円)	204,452	152,246	643,547
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	130,075	83,783	425,658
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	135,462	77,422	419,587
純資産額 (千円)	6,940,892	7,170,385	7,225,017
総資産額 (千円)	16,031,657	15,940,902	16,953,889
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	12.81	8.25	41.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	42.8	44.6	42.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、株式会社コーセーアセットプランは、2020年4月17日をもって解散を決議し、清算手続き中であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。
なお、今後、新型コロナウイルス感染が拡大・長期化した場合、事業への影響が懸念されます。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が、世界的な拡大を見せており、内外経済をさらに下振れさせるリスクに注意が必要であり、感染拡大の終息の見通しがたっていないことから、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する分譲マンション業界においては、金融緩和政策による低金利等の下支えはあるものの、土地価格や建築コストは高止まりしており、新型コロナウイルス感染症の影響がサプライチェーンや工期の長期化、消費者の購買意欲などの点で影響を与えることが懸念されます。

このような事業環境のもと、当社グループは、ファミリーマンション及び資産運用型マンションの販売を継続して行うとともに、新規物件の開発に取り組みました。

この結果、売上高 2,125,706千円（前年同期比1.1%減）、営業利益 126,156千円（前年同期比32.9%減）、経常利益 152,246千円（前年同期比25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 83,783千円（前年同期比35.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

ファミリーマンション販売事業

福岡市に1棟（グランフォーレ大橋サウステラス）を完成させ、前期繰越在庫の引渡しを進め、中古物件を含む28戸（前年同期は25戸）を引渡しました。また、福岡県で2棟（グランフォーレ平尾四丁目レジデンス、グランフォーレ春日宝町）、長崎県長崎市で1棟（グランフォーレ五島町レジデンス）、東京都で1棟（グランフォーレ立川）は販売を継続し、順調に契約高を積み上げました。この結果、売上高 1,029,631千円（前年同期比38.7%増）、セグメント利益 27,063千円（前年同期比36.2%増）となりました。

資産運用型マンション販売事業

当第1四半期連結累計期間において完成する物件がなかったため、計画どおり繰越在庫58戸を引渡したほか、中古物件2戸を引渡し、合計60戸（前年同期は65戸）を引渡しました。この結果、売上高 921,542千円（前年同期比25.0%減）、セグメント利益 164,454千円（前年同期比18.4%減）となりました。

不動産賃貸管理事業

資産運用型マンション新規物件の増加に伴い管理戸数は 3,440戸（前年同期は 3,192戸）と伸長し、売上高 115,497千円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益 31,966千円（前年同期比28.5%減）となりました。

ビルメンテナンス事業

マンション管理業、保守・点検業等を継続して行い、売上高 49,927千円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益 3,120千円（前年同期比 46.5%減）となりました。

その他の事業

不動産売買の仲介業を行い、売上高 9,108千円（前年同期比36.1%減）、セグメント利益 7,878千円（前年同期比33.0%減）となりました。

財政状態の状況は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 1,012,986千円減少し、15,940,902千円となりました。これは主として、開発の進捗に伴い、仕掛販売用不動産が 535,712千円増加したものの、完成物件の引渡しにより販売用不動産が 518,321千円、電子記録債務や配当金の支払いに伴い現金及び預金が 996,987千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ 958,353千円減少し、8,770,517千円となりました。これは主として、開発の進捗に伴い、長期借入金が 854,959千円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が 800,456千円、短期借入金が 399,300千円減少と増減したことに加え、支払手形及び買掛金を決済したことにより 429,927千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ 54,632千円減少し、7,170,385千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年4月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年6月10日)	上場金融商品取引所名又は登録 認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,368,000	10,368,000	東京証券取引所(市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数100株
計	10,368,000	10,368,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年2月1日~ 2020年4月30日	-	10,368,000	-	1,562,450	-	1,431,450

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年1月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 211,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,152,300	101,523	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	-
発行済株式総数	10,368,000	-	-
総株主の議決権	-	101,523	-

【自己株式等】

2020年4月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社コーセーアールイー	福岡市中央区赤坂1丁目15-30	211,200	-	211,200	2.04
計	-	211,200	-	211,200	2.04

(注) 上記の他、当社所有の単元未満株式33株があります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,459,801	2,462,814
売掛金(純額)	15,152	7,764
販売用不動産	4,052,148	3,533,826
仕掛販売用不動産	5,444,566	5,980,278
前渡金	2,115,492	2,095,286
その他	101,212	98,451
流動資産合計	15,188,374	14,178,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	619,409	611,411
土地	1,017,561	1,017,561
その他(純額)	36,540	38,170
有形固定資産合計	1,673,511	1,667,142
無形固定資産	6,549	6,474
投資その他の資産	85,454	88,863
固定資産合計	1,765,515	1,762,480
資産合計	16,953,889	15,940,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,005	21,078
電子記録債務	423,360	241,920
短期借入金	2,281,000	1,881,700
1年内返済予定の長期借入金	3,370,460	2,570,004
未払法人税等	17,494	86,573
賞与引当金	15,959	31,238
その他の引当金	39,123	38,290
その他	452,167	358,218
流動負債合計	7,050,569	5,229,024
固定負債		
長期借入金	2,499,309	3,354,268
長期預り敷金	156,223	164,279
その他	22,769	22,946
固定負債合計	2,678,301	3,541,493
負債合計	9,728,871	8,770,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,562,450	1,562,450
資本剰余金	1,444,032	1,444,032
利益剰余金	4,162,105	4,113,850
自己株式	15,117	15,133
株主資本合計	7,153,470	7,105,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,624	996
その他の包括利益累計額合計	4,624	996
非支配株主持分	66,923	64,188
純資産合計	7,225,017	7,170,385
負債純資産合計	16,953,889	15,940,902

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	2,148,867	2,125,706
売上原価	1,495,135	1,512,588
売上総利益	653,732	613,118
販売費及び一般管理費	465,784	486,961
営業利益	187,948	126,156
営業外収益		
受取家賃	36,706	52,216
受取手数料	6,583	5,774
その他	6,280	7,251
営業外収益合計	49,570	65,242
営業外費用		
支払利息	30,204	33,686
融資手数料	98	1,190
その他	2,763	4,275
営業外費用合計	33,065	39,152
経常利益	204,452	152,246
税金等調整前四半期純利益	204,452	152,246
法人税、住民税及び事業税	57,319	78,115
法人税等調整額	11,937	6,917
法人税等合計	69,256	71,197
四半期純利益	135,195	81,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,119	2,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,075	83,783

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	135,195	81,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	3,627
その他の包括利益合計	266	3,627
四半期包括利益	135,462	77,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,342	80,156
非支配株主に係る四半期包括利益	5,119	2,734

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
投資その他の資産	9,577千円	8,049千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
減価償却費	9,859千円	10,197千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 定時株主総会	普通株式	335,174千円	33円	2019年1月31日	2019年4月26日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月23日 定時株主総会	普通株式	132,038千円	13円	2020年1月31日	2020年4月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファミリー マンション 販売事業	資産運用型 マンション 販売事業	不動産賃貸 管理事業	ビルメンテ ナンス事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	742,308	1,228,121	116,667	47,520	2,134,618	14,249	2,148,867	-	2,148,867
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	155	4,138	4,294	-	4,294	4,294	-
計	742,308	1,228,121	116,823	51,659	2,138,912	14,249	2,153,161	4,294	2,148,867
セグメント利益	19,871	201,478	44,705	5,838	271,894	11,764	283,658	95,710	187,948

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 95,710千円には、セグメント間取引消去1,279千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 96,989千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファミリー マンション 販売事業	資産運用型 マンション 販売事業	不動産賃貸 管理事業	ビルメンテ ナンス事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	1,029,631	921,542	115,497	49,927	2,116,598	9,108	2,125,706	-	2,125,706
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	56	3,337	3,393	-	3,393	3,393	-
計	1,029,631	921,542	115,553	53,265	2,119,992	9,108	2,129,100	3,393	2,125,706
セグメント利益	27,063	164,454	31,966	3,120	226,604	7,878	234,483	108,326	126,156

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 108,326千円には、セグメント間取引消去 443千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 107,883千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり四半期純利益	12円81銭	8円25銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	130,075	83,783
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	130,075	83,783
普通株式の期中平均株式数(株)	10,156,800	10,156,789

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年6月10日

株式会社コーセーアールイー

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増村 正之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野澤 啓 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コーセーアールイーの2020年2月1日から2021年1月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コーセーアールイー及び連結子会社の2020年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。